



くらしの中のSDGs

Vol.13

将来に備えて
知っておきたい
成年後見制度

今月のテーマ



皆さんは「成年後見制度」をご存じでしょうか。

成年後見制度とは、認知症や知的障害、精神障害などさまざまな要因で判断能力が低下し、大切なことを一人で決めるのが不安だったり難しかったりする方をサポートするための制度です。

市が令和5年度に実施した調査によると、半数以上が「知らない」「名前を聞いたことはある」と回答しており、制度の認知度は低いのが現状です。

あなたの身近に、「頼れる家族や親族がいない」「高価な物を度々購入している」「通帳を度々紛失し、お金の引き出しができなくなっている」と思われる方はいませんか。

成年後見制度では、成年後見人が本人に代わって、生活や金銭に関することを行います。例えば、介護サービスや施設入所等の契約、生活に必要な経費の支払い、預貯金や不動産の管理や処分、悪徳商法等で契約してしまったものの取り消しなどです。

成年後見人は、家庭裁判所が

本人にとって最も適任だと思われる方を選任します。家族や親族のほか、弁護士や司法書士など専門職の方が選ばれることもあります。

また、今は元気であっても、判断能力が不十分になった場合に備えて、あらかじめ後見人を選んでおくこともできます。将来に備えて、成年後見制度について知り、活用すれば、いざというときに安心です。

近頃は、「人生会議」という言葉を耳にすることも多くなりました。人生会議とは、人生の大事な場面を何をも大切にしたいか、もしものときにはどうしたいかなど、健康なうちから将来のことについて考え、自分の想いを家族や友人など大切な人と共有しておくことです。

まずは人生会議をきっかけに、成年後見制度の利用も考えてみませんか。

【問い合わせ】

基幹型地域包括支援センター
☎823-9121



まちの出来事を写真でお届け

撮りだち トピックス photo News

2024

2.1

〔木〕

2.29

〔木〕

詳しくは
Facebookで▶



2月1日(木)
南国土佐
観光びらきで
高知の観光をPR

式典では、全国に先駆けて観光シーズンの幕開けを宣言。その後のパーティーでは、祝い太鼓・よさこいなどが披露されました。



2月5日(月)
青森りんご
社会福祉施設への
寄贈式

「四国地区青森りんごの会高知支部」から寄贈いただいたサンふじと王林が合計1400個、70カ所の施設に贈られました。



2月18日(日)
10回記念大会!
高知龍馬マラソン
が開催されました

フルマラソン・ファンランに加え、こしは初めてペアリレーの部も設けられ、全国から集まったおよそ8,900人が春の土佐路を駆け抜けました。



2月3日(土)
鏡川フェスタ
ミートアップ
イベントを開催

鏡川流域関係人口講座の受講生が企画・実施したイベントを振り返るトークショーや、鏡川流域の食材を使った料理で「おきゃく」を楽しみました。



2月7日(水)
メタバースの
活用に向けた
包括連携協定

メタバース（インターネット上の仮想空間）を活用した地方創生の取り組みに向け、START LANDS Inc.と、メタバース内でも包括連携協定を締結しました。



2月24日(土)
オーテピアで
中国・異文化理解
イベントを開催

中国出身で高知に住む3人の国際交流員が日本の生活で感じたコミュニケーションのギャップなどを語るトークショーと、中国映画の上映を行いました。

市役所の推しゴト!

商業振興・外商支援課(街路市編)

■こんな仕事をしています

街路市の運営

街路市の巡回・指導

街路市の活性化

その他の業務内容は
こちらから



▲街路市担当の皆さん



「街路市でお買い物しませんか?」
街路市は、日曜日・火曜日・木曜日・金曜市の総称です。地元密着の街路市で、おらんくの品を手に入れてみませんか。

■街路市に出店したい方(個人)を募集しています。
出店料は日曜日だと1回当たり660円から。地元客も観光客も利用する街路市で、自慢の逸品を販売しませんか。興味はあるけどいきなり出店するのは不安...という方は、「れんけいこうち日曜日出店事業」で、無料でお試し出店ができますので、ご活用ください。
※出店には要件があります。詳しくは、日曜日(街路市)HPをご覧ください。



▲日曜日をはじめとした街路市で、出店者のサポートをしています。

【問い合わせ】 商業振興・外商支援課(街路市担当) ☎823-9375

吉田東洋と天誅事件

歴史万華鏡

(137回)

県立坂本龍馬記念館
学芸員 上村 香乃

高知市の繁華街、帯屋町商店街から北に歩いたオーテピア高知図書館の南角に、ひっそりとたたずむ吉田東洋殉難の碑。文久二(一八六二)年四月八日の夜、土佐藩の仕置役・吉田東洋がこの地付近で暗殺された。

この日、東洋は藩主へ「日本外史」の講義を行っており、講義終わりに酒を飲んだことからほろ酔いで城を後にし、自宅へと向かっている最中に襲撃された。刺客は那須信吾、安岡嘉助、大石団蔵の土佐勤王党员(百九十二名の名簿には入っていない)であったことが後に明らかになっており、暗殺の理由は武市半平太と考えを異にする東洋を排斥して藩主を上洛させるためであった。

東洋は暗殺された後に首のみ持ち去られ、現場に残った胴体はすぐに収容されている。本来であれば、検死のため死骸はそのままするのが作法であったが、息子の源太郎の心情を慮り、胴体が自宅へと取り寄せられた。その後、役人が血眼で東洋の首を探したところ、九日に雁切河原で発見された。ここは、由行寺、九反田と並ぶ高知城下の梟首場の一つであり、東洋の他に岡田以蔵もこの地で梟首にされている。

雁切河原で発見された首には罪文とは別に封状が一通添えられており、封状はすぐに目付方へ差し出されている。目付とは今でいう司法警察の役であり、この配下で東洋暗殺の犯人捜しを行っていたのが下横目の井上佐一郎、弘田章次であった。二人は高知を出て大坂(現大阪)・京都で犯人の探索を行っていたことが土佐藩京都藩邸史料から分かっている。

しかしながら、井上は同年の八月十二日夜に大坂で、弘田は十一月二日に京都の伏見で、東洋と同様に暗殺されてしまう。弘田暗殺の理由は、彼が東洋一派(新おこせ組)の残党であり、かつ、暗殺犯の探索を行っていたためであるとされる。井上に関しては同様に、探索を行っていたことが理由であると考えられる。

元治元(一八六四)年二月の覚書時点で二人を暗殺した人物は中岡慎太郎との風聞もあるが、実情は不明とされている。



「吉田東洋殉難の地」碑